

平成17年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成17年4月26日		記入者	内線	2455
部名	財務部	課名	資産税課	課長名	内田 豊
事務事業名	航空写真撮影委託				
予算上の事務事業名	航空写真撮影委託				
1 総合計画における位置づけ	施策コード				
基本目標					
政策名					
基本施策名	事業開始年度				
施策名	昭和63年以前 ▼				
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
地方税法、同施行令 相模原市市税条例、同施行規則					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分 建築・整備・重要物品購入 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)	
<p>固定資産税(土地・家屋)の正確かつ効率的な課税事務のため、毎年1月1日(天候により延期)に航空写真を撮影し、課税客体補足のための基礎資料とする。</p> <p>固定資産の課税については、毎年1月1日を賦課期日としているので、その賦課期日現在に存在している課税客体を把握することが重要であり、撮影は不可欠なものと考え</p>				市内に所在する固定資産	
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
<p>今年度の航空写真撮影委託については、賦課期日の1月1日を基準に撮影を委託している。</p> <p>撮影範囲 市全域 撮影縮尺 1/10000 形式 デジタルスキャニングデータ 47枚</p>					
6 関連・類似事業や他市の状況					
多くの他自治体においても、課税客体の基礎資料として航空写真の撮影を行っている。					
7 事業費の推移 [単位:千円]					
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	997	1,323	735	2,750	2,750
一般財源	997	1,323	735	2,750	2,750
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	0	0	0	0	0
事業コスト合計(a)	997	1,323	735	2,750	2,750
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	航空写真撮影委託			対象名称(単位)	撮影枚数(枚)
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	997	1,323	735	2,750	2,750
対象数	48	47	47	47	47
単位あたり経費(円)	20,771	28,149	15,638	58,511	58,511
前年度比		1.36	0.56	3.74	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化						
指標名 (単位)	航空写真活用率（率）		指標式と指標の説明	撮影枚数÷活用写真枚数		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	48.0	47.0	47.0			
目標	48.0	47.0	47.0	47.0	47.0	
目標達成度	1.00	1.00	1.00			
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標						
指標名 (単位)	航空写真による課税客体の把握		指標式と指標の説明	撮影委託実施の有無(有=1、無=0) / 撮影委託事業の実施*100 航空写真撮影委託事業の実施の有無		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	1.0	1.0	1.0			
目標	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
目標達成度	100.0	100.0	100.0			
11 個別評価						
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】						
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。				
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】						
A	<input type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。				
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】						
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。				
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。				
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】						
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。				
12 総合評価						
(1) 自動判定結果						
	〔 〕：良好な状態を維持する事業					
	〔 〕：概ね良好な状況である事業					
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業					
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業					
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明			
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実				
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと			
<p>現段階では、精度（縮尺1/10000、スキャンングデータ数47）、回数（毎年実施）とも必要な水準に達しており、この水準を維持していく。</p> <p>都市計画課が同様の航空写真撮影を行う年度は合同委託し経費の削減を図る。</p>			<p>今後のGISシステムなどと関連してさらに高度、広汎な活用がなされる可能性がある。</p>			
15 二次評価						
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント			
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実				
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				